

## 音声文法 30

### どんなテストか

自然なスピードで読み上げられる文を途中まで聞いて、それに続くことばを選択します。選択肢も音声で読み上げられます。選択肢は3肢から一つ選びます。

音声情報を聞きながら、続く文を予測するのは、文字で提示され自分のペースで考えて答える一般的な文法問題とは異なり、単なる文法知識があるだけでは答えられない場合があります。また、明瞭でない音であっても、文の中で意味を考えて聞きとり理解する力も求められます。文法を知識として理解はしているだけでなく、実際に会話や聴解などで使えるような運用力を推定する目的で作られています。文法項目としては、初級の問題から中上級の問題まで合わせて30問が出題されます。

以下のような形式で、30問出題されます。

例：二つ目の駅で電車を

- a: 降りてください。
- b: 乗ってください。
- c: 行って下さい。

### テストの構成要素

自然なスピードで読み上げられる音声による文法の理解、続く言葉の予測能力

#### 実施時の注意事項

- ヘッドフォンを使います。音声が聞こえるか、例題のときに確認してください。
- テストの前に答え方の練習をするための例題があり、これは何度でも練習できます。